

《履修上の留意事項》第7・8・9回に限り3学科合同で開講する。

《担当者名》 児玉壮志 kodamas@hoku-iryo-u.ac.jp 坂上哲可 依田泰知 齊藤隆司 大須田祐亮 榊原健一 中川賀嗣 富家直明

【概要】

作業療法士としてのプロフェッショナルリズムとは何かを学ぶ。社会に役立ち、活躍できる、倫理的で実践的な職業人になるべく、職業人として必要とされるコンピテンシー、プロフェッショナルリズムとは何かを学修し、職業人としての基礎を構築する。また、学士課程のカリキュラムを理解し、専門職業人としての学修の基本であるアカデミックスキルを学び、将来にわたって持続的に学修を遂行できる学修習慣を身につける。

【学修目標】

（一般目標）

作業療法士として必要とされるコンピテンシーや倫理観を理解し、適切な学修方法やコミュニケーションスキルの基礎を身につけることで、専門職業人としての基盤を構築する。また、健康な大学生活を送るための自己管理能力を養い、学生同士の交流を深め、学修支援システムを活用しながら持続的な学修習慣を確立することを目指す。

（行動目標）

- ・作業療法学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて説明でき、学士を修了するために必要な学修行動を実践できる。
- ・作業療法士として必要なコンピテンシーを理解し、大学での学生生活の明確な目標を認識できる。
- ・人権、倫理について理解し、大学の規定を遵守した行動を実践できる。
- ・医療人として必要とされるコミュニケーションスキルの基礎を身につける。
- ・健康な大学生活を送るための日常生活のマネジメント力を身につける。
- ・大学の実施する教育システムに適応し、自分に適した学修方法を身につける。
- ・大学内、学科内、クラス内での交流を活発化し、ピアサポートを強化する。
- ・学科内で構築している学修支援システムについて理解し、円滑に学修に利用することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	作業療法学科における教育内容の外観について確認，説明をおこなう。 「プロフェッショナルリズムとは何か」について演習を通して理解する。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司
2	作業療法士になるために	作業療法士の現状、役割、コア・コンピテンシーや学士課程修了後に確立すべき能力について演習を通して理解する。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司
3	コミュニケーションスキル1	医療人として必要な、患者様、同僚との円滑なコミュニケーションを実現するための基礎を学ぶ。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司
4	コミュニケーションスキル2	医療人として必要な、患者様、同僚との円滑なコミュニケーションを実現するための演習を行う。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司
5	学びの構築1	大学や専門職としての学びについて演習を通して理解する。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司
6	学びの構築2	自己調整学習、メタ認知の必要性について演習を通して理解する。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
7	実践倫理	法令遵守、大学の規定、公共、人権、医療人として必要なfitness to practiseについて説明する。実践倫理について具体的課題を提示し、グループでの議論を通じて意思決定の選択について学ぶ。大学における著作権の利用方法、個人情報保護について学ぶ。	大須田祐亮 児玉壮志 榎原健一 坂上哲可 依田泰知 齊藤隆司
8	健康的なキャンパスライフ作り1	保健センターの利用方法について紹介する。ワクチン接種・禁煙・防煙、健康診断、衛生について学ぶ。	中川賀嗣
9	健康的なキャンパスライフ作り2	学生生活におけるメンタルヘルスについて理解する。学生相談室の利用の方法、各種障害などに起因する学習の問題、合理的配慮、ピアサポートについて説明する。	富家直明
10	健康的なキャンパスライフ作り3	日本人の生活習慣病、ストレス、自殺について学ぶ。メンタルヘルス維持のための予防的アプローチとしてのセルフケアの知識を学ぶ。	富家直明
11	ライフプラン形成1	作業療法士および社会人として、ライフプランを設計するための基礎知識（経済、制度など）について学ぶ。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司
12	ライフプラン形成2	臨床で活躍する作業療法士から、ライフプラン形成の実際について学ぶ。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司
13	アカデミック・スキルズ1	社会から求められる作業療法士になることを目指して、理想の作業療法士について検索する。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司
14	アカデミック・スキルズ2	理想の作業療法士像の発表資料を作成し、発表方法について学ぶ。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司
15	アカデミック・スキルズ3	コミュニケーション実践の場として、理想の作業療法士像について発表する。質疑応答を通して、コミュニケーション技能を高めるとともに、社会から求められる作業療法士像の理解を深める。	坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業内で指定されるレポート(30%)

授業内で行う課題への取組状況(70%)

定期試験は行わない

【教科書】

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

ABC of 医療プロフェッショナリズム 宮田靖志/翻訳, Nicola Cooper, Anna Frain, John Frain/編 羊土社

【学修の準備】

各テーマの内容について、分からない用語や概念について事前に調べるなどの予習をすること(80分)。 復習は、授業に関連する課題についてまとめ直したり、指示のあった提出物の作成を通じて学修を深めること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP5）常に変化する社会の要請を理解し対応できるよう生涯にわたって研鑽に努め、自らの専門領域を発展させる姿勢と自己学修力を身につけている。

【実務経験】

坂上哲可 児玉壮志 依田泰知 齊藤隆司 （すべて作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、福祉機関などでの臨床経験を活かした教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している